

# 平成28年度の決

## 平成28年度の事業概要は次のとおりです

### ① 給水状況

給水人口	76,339人	前年度比	845人(1.09%)の減
給水戸数	32,444戸	前年度比	134戸(0.41%)の増
総配水量	9,418,420m <sup>3</sup>	前年度比	253,702m <sup>3</sup> (2.62%)の減 (平成29年3月31日現在)

### ② 建設改良

向町浄水場の8号ろ過機改修工事や北部配水場の直流電源装置蓄電池更新工事等の水道施設の改修工事及び水道管網の整備拡充や、老朽管の更新を実施し、より安全で安定した水道水の供給や、施設の改修に努めました。

新設した配水管は約2.6kmで、総延長は約501.9kmとなりました。  
なお、老朽管布設替工事は約3.0km実施しました。

## 中期経営計画の達成状況をお知らせします

本市水道事業では、将来にわたり必要なサービスを安心・安定的に提供するため、厳しい社会情勢の変化に対応できるよう経営の総点検を行い、効率的、計画的な事業経営を行うため「中期経営計画」を策定しています。

その中で、事業運営において目標となる4項目の経営指標について、平成28年度(最終年度)の達成状況をお知らせいたします。

なお、今後も収入の確保や経費の削減に努め、健全な水道事業経営を推進してまいります。

### 経営指標の達成状況

指標名	目標値	内容	分析	平成28年度
有収率	91%	総有収水量/総配水量×100	水道システムの効率性	90.7%
総収益対総費用比率	100%以上	総収入/総支出×100	収益性	111.6%
給水収益対職員給与費	7%以内	職員給与費/給水収益×100	費用	5.3%
職員1人当たり有収水量	700,000m <sup>3</sup> /人	総有収水量/職員数	生産性	711,558m <sup>3</sup> /人

**有収率** …年間総配水量に対する総有収水量の割合。この数値が低い場合は、漏水、メータ不感水量、管洗浄及び事業用水量等が多いことが考えられます。

**総収益対総費用比率** …総収益と総費用を対比したもので、100%が赤字・黒字の分岐点になります。率が高いほど経営状態がよいと言えます。

**給水収益対職員給与費** …給水収益に対する職員給与費の割合。職員数や人件費の水準をみる指標です。事業の生産性、効率性を表すものです。

**職員1人当たり有収水量** …職員の労働生産性をみる指標で、職員数が適正な規模になっているかを示すものです。